

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒業  
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

**上州三峰山 - 静寂の山歩き -**



後閑駅付近から仰ぐ上州三峰山

JR上越線で沼田を過ぎた頃、右手にテーブルマウンテンとでも言うべき平らな山頂が長々と続いて見える山がある。上州三峰山(1123m)である。カタクリの花の名所という。4月下旬、その上州三峰山に出かけた。

9時30分 JR後閑駅から歩き出し、関越道下のガードを抜け、龍谷禅寺の傍から道標に従い緩やかな小尾根を登って行く。この辺は今時、桜・梅・桃が競って咲き誇っている。足元には芝桜も咲き乱れる。正に春本番である。

10時45分一泉ノ松。水場とベンチがあり、満開の桜を目の下に眺めながら一休み。次いで雑木林のジグザグ登りの後、コンクリート舗装の車道に出る。車道の終点から急な石段の参道を登り11時15分、河内神社に到着した。

神社境内にベンチがあり、沼田の街並み、赤城山、子持山などが展望出来た。更に5分程登った所にパラグライダーの離陸場がある。若者達が緊張の面持ち



パラグライダー

で次々と離陸する様子を、高みの見物しながら、こちらはのんびり昼食休憩した。ここを12時出発で、上州

三峰山本峰に向かう。マウンテンテーブル上の散歩である。アカマツの交じる雑木林の中、殆ど起伏のない山上の散歩道が延々と続く。冬枯れの雑木林は静寂そのものである。雪は所々凹地に残る程度。三峰を構成する追母峰、吹返峰、後閑峰の峰々は、途中気付かぬ間に通り過ぎてしまい、最後に大きく崩れ落ちた火口壁の左肩に沿って登り切った最高点が上州三峰山山頂だった。到着13時半。

山頂は雑木林の中で展望はあまり効かない



山頂からの谷川岳

が、樹間に雪に輝く谷川岳が猛々しく迫って見えた。山頂付近のカタクリはようやく葉芽が出た程度で、花は未だしなのが残念でした。

下山は、三峰沼経由コースを取った。20分程の山頂滞在の後、往路と同じ道に戻り、三峰沼分岐の道標で右に入り15時15分、三峰沼に到着した。沼入口付近でミズバショウの大群生に迎えられたのが、本日の一番の感激だった。

沼を過ぎ、良く整地された歩き易い道をどんどん下り17時、お目当ての「みねの湯・つきよの館」に飛び込んだ。入湯料が、シルバー割引で350円とは嬉しい。



ミズバショウ